

議会改革特別委員会

日 時 令和3年9月24日（金）
午前10時
場 所 全員協議会室

議 題

- 1 議長への検討結果報告（案）について
- 2 その他

(案)

1 アンケート結果の検証

個々の議員がアンケート結果を真摯に受け止め、今後の議会運営に活かしていくこととする。

なお、定数問題については、改選後も引き続き、協議していく。

2 なり手不足への対応

(1) 通年議会

引き続き、検討していく。

(2) 厚生年金への加入

健康保険や報酬、定数問題とも関係することから、改選後に改めて協議する。

(3) 議員活動の実態把握

新型コロナウイルス感染症により、通常の議員活動ができていないことから、改選後に改めて実施する。

3 災害時の議会对応

8月29日に予定されていた市総合防災訓練にあわせ、「射水市議会の災害時における行動の基本方針」及び「緊急・大規模災害発生時の市議会及び議員の行動計画」に基づき、タブレットを使用した安否報告や近隣の災害情報の収集・提供訓練を行った。

なお、今後も市総合防災訓練にあわせて行うなど、毎年、訓練を行っていく。

4 タブレットの多目的な使用方法の検討

災害時の訓練を例として、具体的に運用していくこととする。

通年議会

【専門部会での議論の内容】

- ・ 災害時は無論、議員は常にどのような状況においても議員の責務を果たさなければならない。首長からの召集ではなく、常に議長の命の下に参加し、対応することが現況においては求められているのではないか。
- ・ 市民の理解やこれからの議会活動を考えると、通年議会は課題である「議員のなり手不足」の一因である報酬アップにつながるのではないか。
- ・ 先進事例の視察が必要だ。

(5月10日 通年議会を導入している南砺市議会への視察を受け)

- ・ 臨時会と通年議会の線引きがよく分からなかった。導入を慌てる必要はない。
- ・ 導入には賛成だが、議員がかなり拘束され、重く感じる。
- ・ 議会側だけで走ってもいけない。当局とも協議を重ねる必要がある。
- ・ 南砺市議会での運用例は分かったが、他の先進事例も視察してから決定すべきだ。

【専門部会での方向性】

引き続き、検討していく。

【議会改革特別委員会としての方向性】

専門部会での方向性と同じとする。

厚生年金への加入

【専門部会での議論の内容】

- ・ 全国市議会議長会では議員の処遇改善として年金問題に取り組むことを推奨し、国へ意見書を出すよう促している。
- ・ 本市議会でも2～3年前に協議したが、議長会が推奨している方針にはならなかった。しかし議員のなり手不足のことを考えると、もう一度、勉強も含めて検証する必要があるのではないか。
- ・ 過去に協議し、意見書は出さないという結論が出ている。対象となる若い議員が必要ないと言っているのに、対象とならない年齢の議員がどうこう言うのはいかがなものか。
- ・ 加入となると個人負担が月に約4万円増える。富山市や高岡市の報酬額ならよいが、射水市の額ではどうなのだろうか。
- ・ 処遇改善の仕組みとして将来を保障する仕組みを作り、より多くの人たちに対し、議員に手を挙げやすい環境を作るのも現在の議員の役割でないか。
- ・ 「定数はそのまま自分たちの処遇は改善するのか」と言われないか。

【専門部会での方向性】

健康保険や報酬、定数問題とも関係することから、改選後に改めて協議する。

【議会改革特別委員会としての方向性】

専門部会での方向性と同じとする。

議員活動の実態把握

【専門部会での議論の内容】

- ・ 議員としての平均的な勤務日数、稼働日数の数字を誰もつかんでいない。議員として自分たちの検証が必要ではないか。
- ・ 定例会等の会議に出ている日より、市民の要望のために動いている日の方がはるかに多いが、市民に理解されていない。
- ・ 葬儀や新年会など、泥臭いことまで出さないと、議員の本当のところを市民に分かってもらえない。
- ・ 市の行事は1時間、会議は3時間などの基準を定め、それに出席回数をかけて全体の時間を出せばどうか。

【専門部会での方向性】

新型コロナウイルス感染症により、通常の議員活動ができていないことから、改選後に改めて実施する。

【議会改革特別委員会としての方向性】

専門部会での方向性と同じとする。

災害時の議会対応

【専門部会での議論の内容】

- ・ 「射水市議会の災害時における行動の基本方針」及び「緊急・大規模災害発生時の市議会及び議員の行動計画」において、「議会は、防災訓練を年に1回、実施する。」と定めているが、今まで行ったことがない。実施すべきでないか。

【専門部会での方向性】

市総合防災訓練と合わせて実施する。

【議会改革特別委員会としての方向性】

市総合防災訓練と合わせて実施する。

※ 8月29日（日） 午前8時30分

①タブレットを用いた安否報告や災害状況写真の送信、②事務局でそれらを取りまとめ、議長へ報告、等の訓練を実施した。

タブレットの多目的な使用方法の検討

【専門部会での議論の内容】

- ・ 各地でリモート会議が行われている。射水市議会における可能性を検証すべきだ。
- ・ 災害等で参集が難しい場合などのためにタブレットを使用したリモート会議の検討が必要だ。ただし、規則を改正する必要がある。
- ・ リモート会議もあるが、庁舎外で災害に遭遇した場合、タブレットで被害状況の写真を撮り、事務局へ送るといったことを想定して提案した。その後、事務局から災害対策本部へ伝える流れまでを作っておけばどうか。

【専門部会での方向性】

災害時の訓練を例として、具体的に運用していくこととする。

【議会改革特別委員会としての方向性】

災害時の訓練を例として、具体的に運用していくこととする。

※ 8月29日（日） 午前8時30分

①タブレットを用いた安否報告や災害状況写真の送信、②事務局でそれらを取りまとめ、議長へ報告、等の訓練を実施した。